

惜春鳥

作詞 木下恵介
作曲 木下忠司

□□□

1.

流れる雲よ朝空に 朝空に
輝く遠き山々よ 山々よ
若きいのちの 喜びを
知るや大空 晴れわたる
あゝ青春の花さけば
何処かで鳥が 鳴いている

2.

流れる歌よ春の日の 春の日の
風の調べか草笛か 草笛か
恋のいのちのせつなさ
知るややさしく 鳴りわたる

3.

あゝ青春の花 香れ
何処かで鳥が 鳴いている
流れる春よ夕空に 夕空に
願いし夢よ思い出よ 思い出よ
清きいのちの さゝやきを
知るや入日が 消え残る
あゝ青春の花 散れば
何処かで鳥が 鳴いている

惜春鳥

作詞 木下恵介
作曲 木下忠司

1

□□■

流れる雲よ朝空に 朝空に
輝く遠き山々よ 山々よ
若きいのちの 喜びを
知るや大空
晴れわたる
あゝ青春の
花さけば
何処かで鳥が
鳴いている

惜春鳥

作詞 木下恵介
作曲 木下忠司

2.



流れる歌よ春の日の

春の日の

風の調べか草笛か 草笛か

恋のいのちのせつなさを

知るやさしく

鳴りわたる

あゝ青春の 花香れ

何処かで鳥が

鳴いている

惜春鳥

作詞 木下恵介
作曲 木下忠司

3.

流れる春よ夕空に

夕空に

願いし夢よ思い出よ

思い出よ

清きいのちの さくやみを

知るや入日が 消え残る

あゝ青春の 花散れば

何処かで鳥が 鳴いている